

史学 History

薬：K1-10101MY、生命：K1-10101MS

素養科目 1、2、3 (薬)年／前・後期 1単位 選択科目

科目責任者 古谷 紳太郎(非常勤講師)

■教育目的

本科目の目的は、歴史と歴史学の違いを理解することと、歴史学の素養をもとに、過去と未来の間に現在を位置付け直すことにある。本科目では、学問(とくに科学・技術)の歴史を軸に世界史を振り返り、現代社会とくに大学での学びがどのようにして現れてきたのかを学ぶ。【卒業認定・学位授与の方針:YD-⑥、SD-④】

■学習到達目標

1. 講義で学んだ歴史学的素養の意義を周囲の人に説明できるようになること。(知識)
2. 講義で学んだ歴史学的素養を踏まえて、大学における自身の学びを位置づけられるようになること。(知識、態度)

■準備学習(予習・復習)

予習 各回講義に該当する時代が書かれた箇所を読むこと。(30分以上)

復習 授業で配られた資料や紹介した文献を読むこと。(30分以上)

■授業形態

講義

■授業内容

No.	項目	授業内容	備考・SBOコード
1	導入	授業の進め方、学習の仕方、評価方法についてのガイダンス。歴史と歴史学の違いおよび歴史学を学ぶ意義。	
2	歴史学とは何か	歴史学の歴史	
3	古代における科学	学問のはじまり	
4	古代における科学	アリストテレスの哲学体系	
5	古代末期から中世の科学1	ローマの興亡および古代の知識の行方	
6	古代末期から中世の科学2	大学の誕生と12世紀ルネサンス	
7	中世の科学	大学のカリキュラムの定式化	
8	近世の技術	近世と技術的な発達と自然観の変化	
9	近世の科学	17世紀科学革命	
10	近代科学発展の背景	産業革命・市民革命と新しい「大学」登場	
11	近代科学発展の背景	近代化と近代的な大学の登場	
12	現代科学1	現代の科学研究	
13	現代科学2	学問の現在	
14	補講	場合により補講	
15	補講	場合により補講	

■授業分担者

古谷紳太郎(非常勤講師)(No. 1～15)

■課題(レポート、試験等)のフィードバック及び成績評価方法

毎回のコメントシートと期末レポートで評価する。期末レポートの点数(50%)、課題(50%)

■教科書

『アカデミア世界史』、浜島書店

■参考書

レーオポルト・フォン・ランケ、村岡哲(訳)『世界史の流れ—ヨーロッパの近・現代を考える』、ちくま学芸文庫

リュシアン・フェーブル、長谷川輝夫(訳)『歴史のための闘い』、平凡社ライブラリー

マルク・ブロック、高橋清徳(訳)『比較史の方法』、講談社学術文庫 フェルナン・ブローデル、清水幾太郎(訳)『歴史入門』、中公文庫